



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ピーバンドットコム 上場取引所 東
コード番号 3559 URL <https://www.p-ban.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 康進
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 上田 直也 TEL (03) 3265-0343
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、個人投資家向けオンライン開催）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	470	6.5	30	△4.9	28	△4.6	19	△4.7
2023年3月期第1四半期	441	△4.1	31	△34.6	30	△38.2	20	△38.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	4.30	4.26
2023年3月期第1四半期	4.32	4.26

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,467	1,219	83.1
2023年3月期	1,526	1,231	80.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,219百万円 2023年3月期 1,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		0.00	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,221	10.2	145	△20.7	145	△20.1	100	8.2	21.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,985,206株	2023年3月期	4,925,206株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	322,019株	2023年3月期	322,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,632,857株	2023年3月期1Q	4,841,646株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年8月17日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における国内の電子工業は、世界的な半導体等一部電子部品の不足による生産への影響は正常化へ向かっております。また、経済活動においては、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へと移行し、行動制限の緩和による持ち直しが見られる一方、ウクライナ情勢の動向等の影響、急激な円安進行や物価上昇等の影響により、依然として経済の見通しは不透明であります。

このような事業環境の中、当社では、2022年度から2030年度に渡る「長期ビジョンに基づく中期経営計画」をスタートさせ、本年度で2年目となる第1次中期計画では「飛躍に向けての基盤整備」をテーマとしており、当第1四半期においてもその取り組みを実行してまいりました。

プリント基板Eコマース「P板.com」事業では、基板製造サービスの伸長と、昨年10月に自動見積システムを改定し、価格・納期の合理化を図った部品実装サービスの利用が増加し、売上が拡大しました。システムによる自動見積の信頼性が向上したことで、利用する顧客が増加しました。

また、中堅・大手企業顧客層の拡販施策として、基板設計の「ダイレクト相談窓口」を設置しました。基板製造の前工程にあたる基板設計サービスの利用を促進することで、新規顧客の利用だけでなく、既存顧客がより利用し易い環境を作りました。

さらに、電子機器の一括製造受託を請け負う「P板.com EMS」を見直し、リブランドを行いました。開発・量産支援サービス「S-GOK」(スゴック)と名称を改め、より上流から、より広範囲のサービスをサポートする、顧客伴走型のサービスへと進化いたしました。2023年7月にサービスサイトをリリースし、当事業年度の売上拡大を目指し、始動いたしました。

新規事業創出に向けての取り組みとして、2023年6月に経営体制の変更を行い、既存事業領域の拡大と、新規事業領域の探索を同時追求する「両利きの経営」を行い、他社との提携を含めた施策を推し進めてまいります。

なお、販売管理費につきましては、「仕組み×人」の経営戦略を加速させるため、人材採用を従来計画から前倒ししたことによる影響が出ておりますが、まずはトップライン成長を優先しながら、きめ細かな経費コントロールを実施することで早期の平準化を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は470,797千円(前年同期比6.5%増)、販売費及び一般管理費は125,359千円(前年同期比6.1%増)、営業利益30,105千円(前年同期比4.9%減)、経常利益は28,989千円(前年同期比4.6%減)、四半期純利益は19,913千円(前年同期比4.7%減)となりました。

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,467,215千円となり、前事業年度末と比較して59,532千円の減少となりました。主な要因は、無形固定資産が2,504千円、投資有価証券が12,500千円増加した一方、現金及び預金が32,919千円、電子記録債権が3,580千円、売掛金が33,355千円、商品が3,792千円減少したこと等によります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は247,878千円となり、前事業年度末と比較して47,660千円の減少となりました。主な要因は、賞与引当金が5,811千円増加した一方、買掛金が24,314千円、未払法人税等が20,658千円減少したこと等によります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,219,336千円となり、前事業年度末と比較して11,872千円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益により19,913千円増加した一方、配当金の支払により36,825千円減少したことに加え、新株予約権の行使により、資本金が2,545千円、資本剰余金が2,545千円増加したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。世界的な半導体不足の影響等については緩和傾向にありますが、今後も慎重に見ていく必要があります。既存事業と新規事業、双方の拡大・実現に向けて、取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,809	1,018,890
電子記録債権	4,620	1,039
売掛金	272,095	238,740
商品	20,441	16,648
その他	11,398	15,824
貸倒引当金	△772	△669
流動資産合計	1,359,592	1,290,474
固定資産		
有形固定資産	11,342	11,498
無形固定資産	53,170	55,674
投資その他の資産		
その他	104,237	111,219
貸倒引当金	△1,595	△1,652
投資その他の資産合計	102,641	109,567
固定資産合計	167,154	176,740
資産合計	1,526,747	1,467,215
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,290	165,976
未払法人税等	26,587	5,929
賞与引当金	2,443	8,255
その他	60,576	53,353
流動負債合計	279,898	233,514
固定負債		
退職給付引当金	15,640	14,364
固定負債合計	15,640	14,364
負債合計	295,538	247,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	178,772	181,317
資本剰余金	144,772	147,317
利益剰余金	1,106,322	1,089,410
自己株式	△198,710	△198,710
株主資本合計	1,231,156	1,219,334
新株予約権	52	2
純資産合計	1,231,208	1,219,336
負債純資産合計	1,526,747	1,467,215

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	441,885	470,797
売上原価	292,107	315,333
売上総利益	149,777	155,464
販売費及び一般管理費	118,108	125,359
営業利益	31,669	30,105
営業外収益		
受取手数料	22	96
その他	—	19
営業外収益合計	22	116
営業外費用		
為替差損	1,300	1,231
その他	0	1
営業外費用合計	1,301	1,232
経常利益	30,390	28,989
税引前四半期純利益	30,390	28,989
法人税、住民税及び事業税	4,314	4,582
法人税等調整額	5,175	4,493
法人税等合計	9,490	9,076
四半期純利益	20,900	19,913

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。